

PAT-NO: JP406048082A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06048082 A

TITLE: TREATMENT FOR DISENABLING REGENERATION OF MAGNETIC
RECORDING CARD

PUBN-DATE: February 22, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

OKUDA, MASAYUKI

KAJITANI, TOSHIO

SAEKI, SHIN

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

TOKIN CORP

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP04204970

APPL-DATE: July 31, 1992

INT-CL (IPC): B42D015/10, G06K019/06 , G11B005/84 , G11B023/00 , G11B023/28

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent generation of many small cutting pieces and many punching pieces by destroying or removing at least a part of the magnetic layer of a magnetic recording card by a laser device.

CONSTITUTION: At least a part of the magnetic layer 2 of a magnetic recording card 1 is destroyed or removed by a laser device. For example, a plurality of grooves 3 are formed on the magnetic layer 2 of the magnetic recording card 1 by the laser device. As a result, a treating method for disabling regeneration of the magnetic recording card is obtained wherein many small cutting pieces and many punching pieces are not generated.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(51)Int.Cl.⁵
B 4 2 D 15/10
G 0 6 K 19/06
G 1 1 B 5/84
23/00

識別記号
5 5 1 A

Z 7303-5D
N 7201-5D
8623-5L

庁内整理番号
9111-2C

F I

G 0 6 K 19/ 00
B

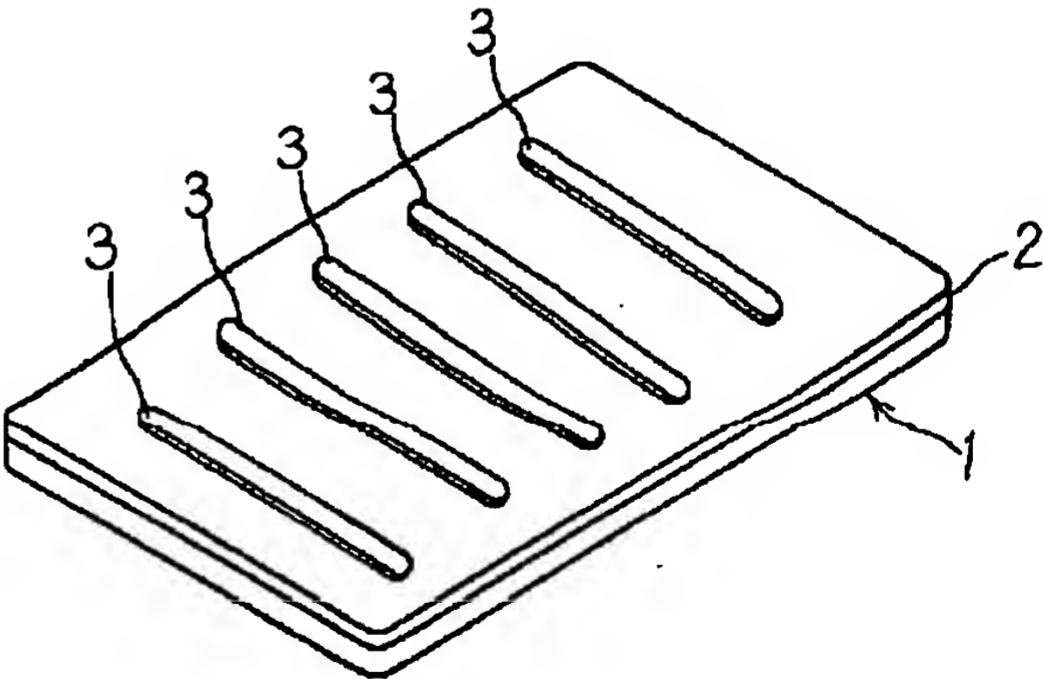
技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数4(全 3 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願平4-204970	(71)出願人	000134257 株式会社トーキン 宮城県仙台市太白区郡山6丁目7番1号
(22)出願日	平成4年(1992)7月31日	(72)発明者	奥田 雅之 宮城県仙台市太白区郡山六丁目7番1号 株式会社トーキン内
		(72)発明者	梶谷 俊夫 宮城県仙台市太白区郡山六丁目7番1号 株式会社トーキン内
		(72)発明者	佐伯 慎 宮城県仙台市太白区郡山六丁目7番1号 株式会社トーキン内
		(74)代理人	弁理士 後藤 洋介 (外2名)

(54)【発明の名称】 磁気記録カードの再生不能化処理方法

(57)【要約】
【目的】 小さい多数の切断片および多数の打抜片が発生しない磁気記録カードの再生不能化処理方法を提供することにある。
【構成】 磁気記録カード1の磁気層2にレーザ装置により複数の溝3を形成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 磁気記録カードの磁気層の少なくとも一部をレーザ装置により破壊または除去することを特徴とする磁気記録カードの再生不能化処理方法。

【請求項2】 磁気記録カードの磁気層の少なくとも一部をサンドブラスト装置により破壊または除去することを特徴とする磁気記録カードの再生不能化処理方法。

【請求項3】 磁気記録カードの磁気層の少なくとも一部を超音波発生装置により破壊または除去することを特徴とする磁気記録カードの再生不能化処理方法。

【請求項4】 磁気記録カードの磁気層の少なくとも一部を高圧水噴射装置により破壊または除去することを特徴とする磁気記録カードの再生不能化処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、磁気記録カードの再生を不能化する処理方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、磁気記録カードの再生不能化処理方法として、磁気記録カードを切断して細かくしてしまうものおよび磁気記録カードに多数の穴を穿つものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の磁気記録カードの再生不能化処理方法においては、処理後に小さい多数の切断片および多数の打抜片が散乱し、これらを回収する手間がかかるという問題がある。

【0004】本発明の課題は、小さい多数の切断片および多数の打抜片が発生しない磁気記録カードの再生不能化処理方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、磁気記録カードの磁気層の少なくとも一部をレーザ装置により破壊または除去することを特徴とする磁気記録カードの再生不能化処理方法が得られる。

【0006】また、本発明によれば、磁気記録カードの

磁気層の少なくとも一部をサンドブラスト装置により破壊または除去することを特徴とする磁気記録カードの再生不能化処理方法が得られる。

【0007】また、本発明によれば、磁気記録カードの磁気層の少なくとも一部を超音波発生装置により破壊または除去することを特徴とする磁気記録カードの再生不能化処理方法が得られる。

【0008】また、本発明によれば、磁気記録カードの磁気層の少なくとも一部を高圧水噴射装置により破壊または除去することを特徴とする磁気記録カードの再生不能化処理方法が得られる。

【0009】

【実施例】次に、本発明の実施例を図面に基いて説明する。

【0010】図1および図2に示すように、本発明は、磁気記録カード1の磁気層2の少なくとも一部をレーザ装置により破壊または除去するものであって、例えば、レーザ装置により磁気記録カード1の磁気層2に複数の溝3を形成するものである。

【0011】前記レーザ装置の代わりに、サンドブラスト装置、超音波発生装置または高圧水噴射装置を用いても良い。

【0012】

【発明の効果】本発明は、磁気記録カードの磁気層の少なくとも一部を破壊または除去するから、小さい多数の切断片および多数の打抜片が発生しない。

【図面の簡単な説明】

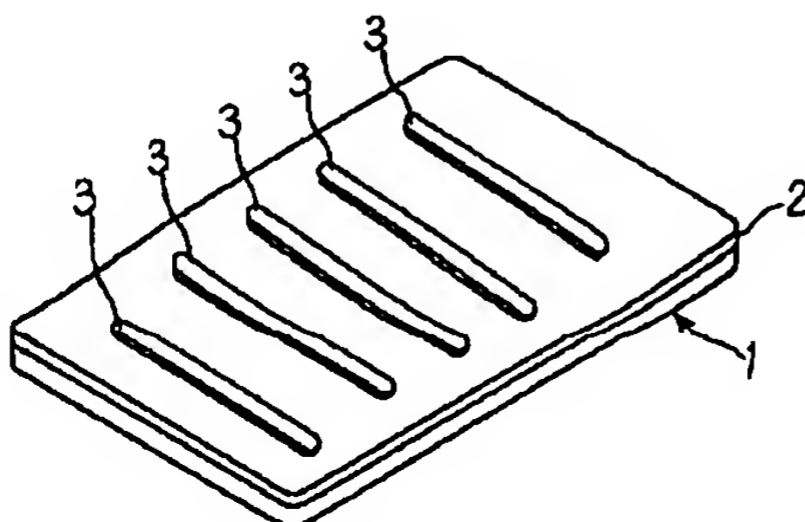
【図1】本発明により処理した後の磁気記録カードを示す斜視図である。

【図2】本発明により処理した後の磁気記録カードを示す断面図である。

【符号の説明】

- 1 磁気記録カード
- 2 磁気層
- 3 溝

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁵
G 1 1 B 23/28

識別記号 庁内整理番号
Z 7201-5D

F I

技術表示箇所